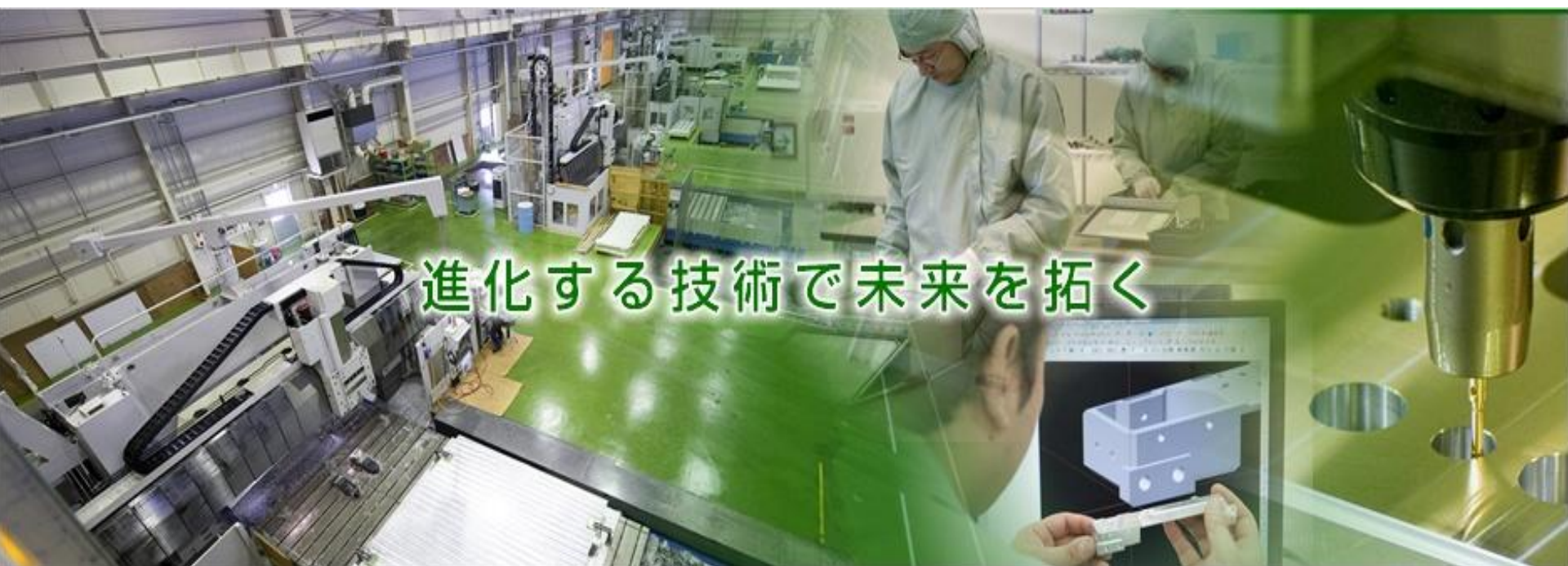


東証マザーズ(TSE Mothers):6264

株式会社マルマエ

平成25年8月期 第1四半期決算説明会

平成25年1月18日
東京国際フォーラム G605 会議室



進化する技術で未来を拓く

1.決算概要



P/L分析

P/L

	平成24年8月期 第1四半期累計期間		平成25年8月期 第1四半期累計期間		
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合(%)	対前年同期 増減率(%)
受注高	275	—	384	—	39.6
受注残高	111	—	253	—	127.7
売上高	362	100.0	259	100.0	▲28.4
売上原価	255	70.6	192	74.1	▲24.9
売上総利益	106	29.4	67	25.9	▲36.8
販売管理費	52	14.4	49	18.9	▲5.8
営業利益	54	15.0	18	7.0	▲66.6
経常利益	45	12.5	18	7.3	▲58.4
特別損益	0	—	0	—	—
当期純利益	44	12.2	17	6.9	▲59.4
EPS(円)	2,534.58	—	1,029.91	—	▲59.4
EBITDA	94	—	46	—	▲50.5

Point

①受注状況

- FPD分野:271百万円
(対前年同期:98.0%増)
- 半導体分野:107百万円
(対前年同期:17.8%減)
- その他分野:5百万円
(対前年同期:30.5%減)

②売上高

- ・対前年同期28.4%の減少
- ※分野別の詳細は次頁

③売上原価・売上総利益

- ・外注加工費:19百万円減
(対前年同期:41.7%減)
- ・材料費:8百万円増
(対前年同期:26.7%増)
- ・減価償却費:6百万円減

④営業利益

- ・販売管理費はほぼ横ばい

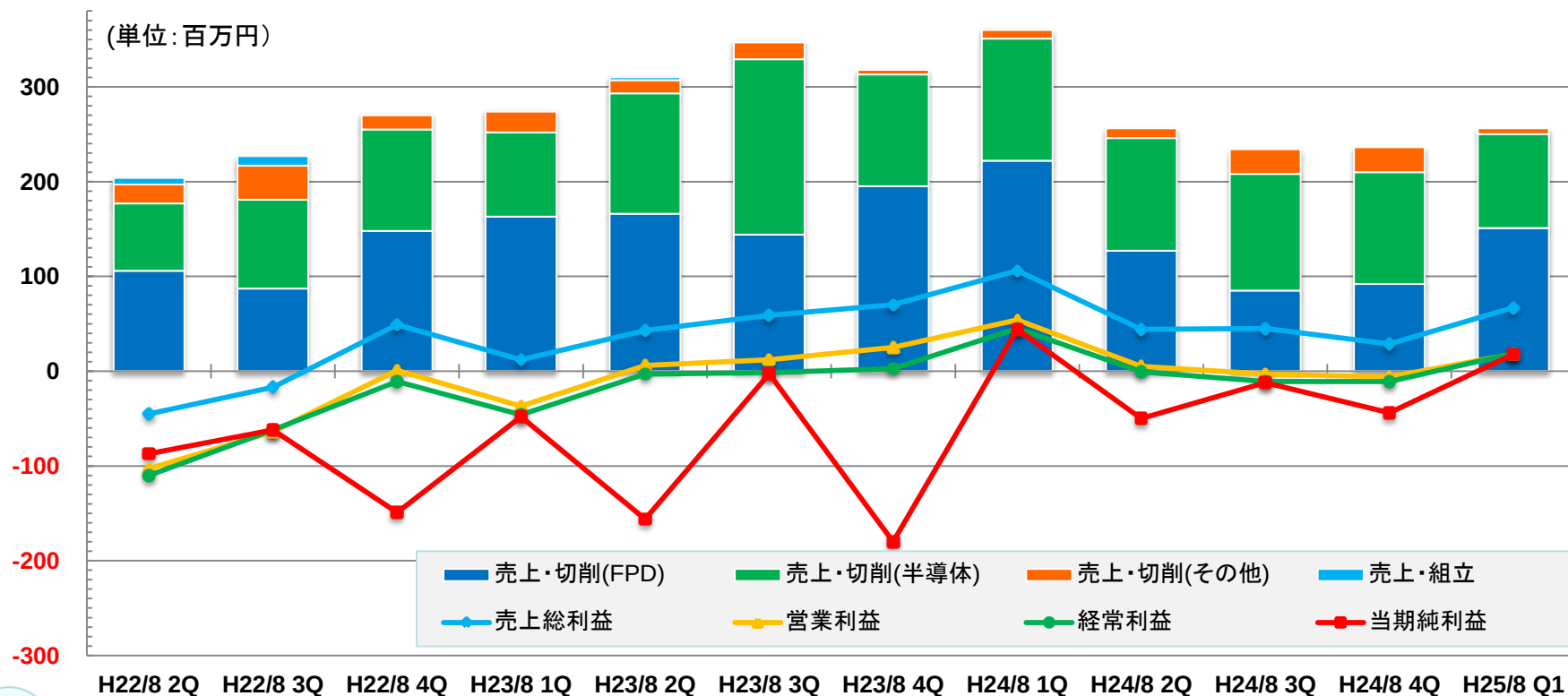
⑤営業外収益/費用

- ・為替差益:5百万円
- ・支払利息:4百万円

1.決算概要



四半期業績の推移



Point

①売上高は、FPD分野がけん引

■FPD分野: 151百万円(対前年同期: 32.0%減)

- ・国内液晶パネルメーカー向けで売上回復傾向

■半導体分野: 99百万円(対前年同期: 23.0%減)

- ・厳しい市場環境、新規顧客受注、既存顧客品種拡大

■その他分野: 8百万円(対前年同期: 16.9%減)

②損益面ではFPDの増加と生産性向上で順調

- ・固定費削減効果が通期寄与見込み
- ・独自生産方式による生産性改善
- ・厳しい市場環境下でも営業益は改善傾向
- ・為替差益の発生

1.決算概要



B/S分析

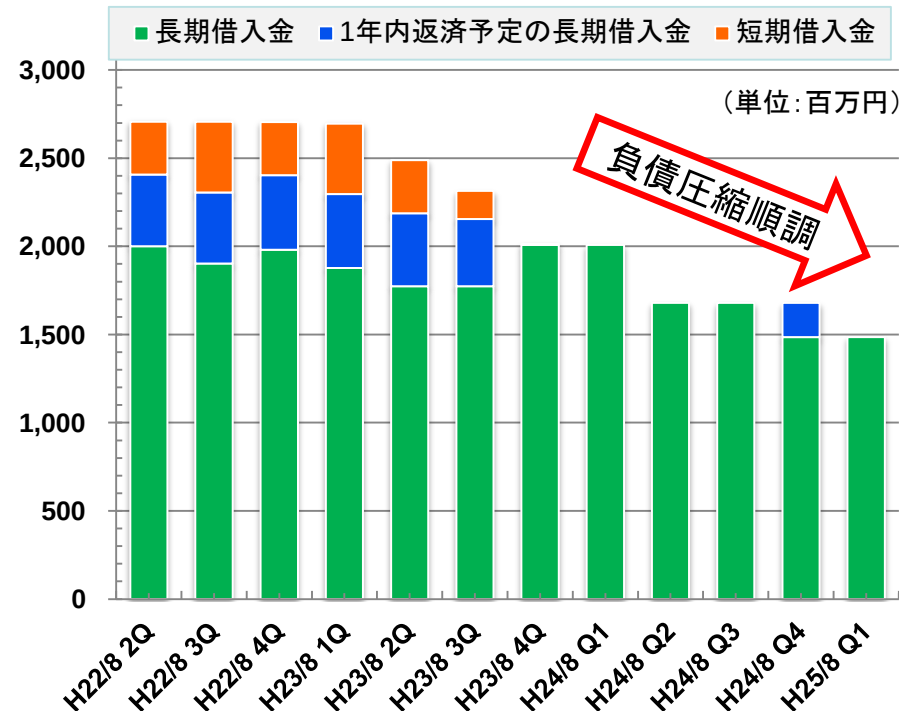
B/S

(単位:百万円)	平成24年8月期 会計年度末	平成25年8月期 第1四半期末
流動資産	735	594
現金及び預金	384	184
受取手形・売掛金 電子記録債権	319	351
たな卸資産	20	45
固定資産	1,039	1,014
建物・土地	604	600
機械及び装置	305	291
流動負債	274	89
有利子負債(短期)※	194	—
固定負債	1,489	1,488
長期借入金	1,486	1,486
負債合計	1,764	1,578
純資産合計	11	29
総資産	1,775	1,608

※ 有利子負債(短期): 短期借入金+1年内返済予定の長期借入金

Point

- ① 資産: 1,608百万円(前期末比: 167百万円減少)
 - ・現金及び預金: 199百万円減少
 - ・受取手形及び売掛金等: 32百万円増加
 - ・固定資産: 25百万円減少 他
- ② 負債: 1,578百万円(前期末比: 185百万円減少)
 - ・一年内返済予定長期借入金: 194百万円減少
- ③ 純資産: 29百万円(前期末比: 17百万円増加)
 - ・自己資本比率 1.8%

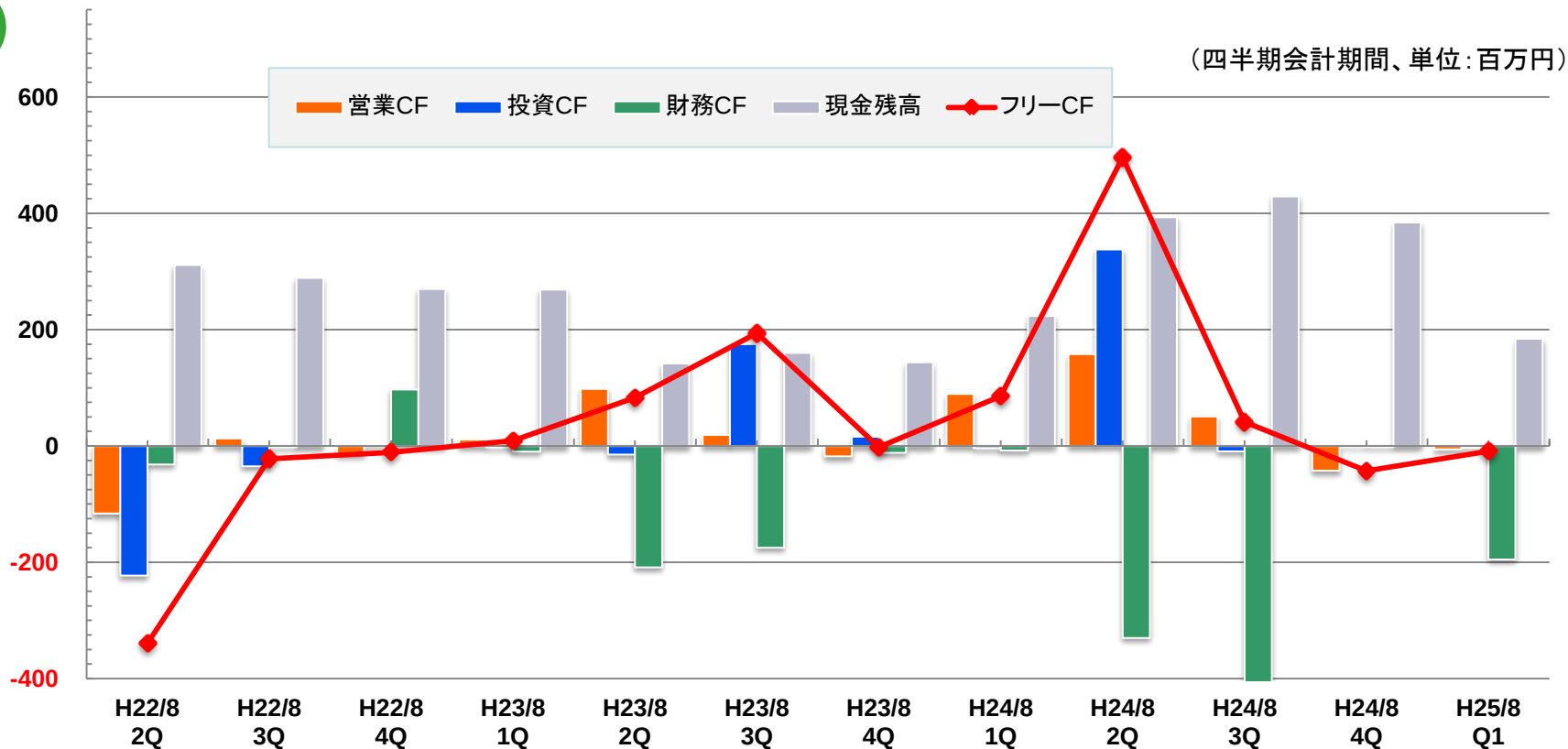


1.決算概要



CF分析

CF



Point

①営業活動によるCF: ▲5百万円

- ・売上債権の増加による減少: 32百万円
- ・減価償却費による増加: 28百万円
- ・棚卸資産の増加による減少: 24百万円
- ・税引前当期純利益による増加: 17百万円
- ・仕入債務の増加による増加: 10百万円

②投資活動によるCF: ▲3百万円

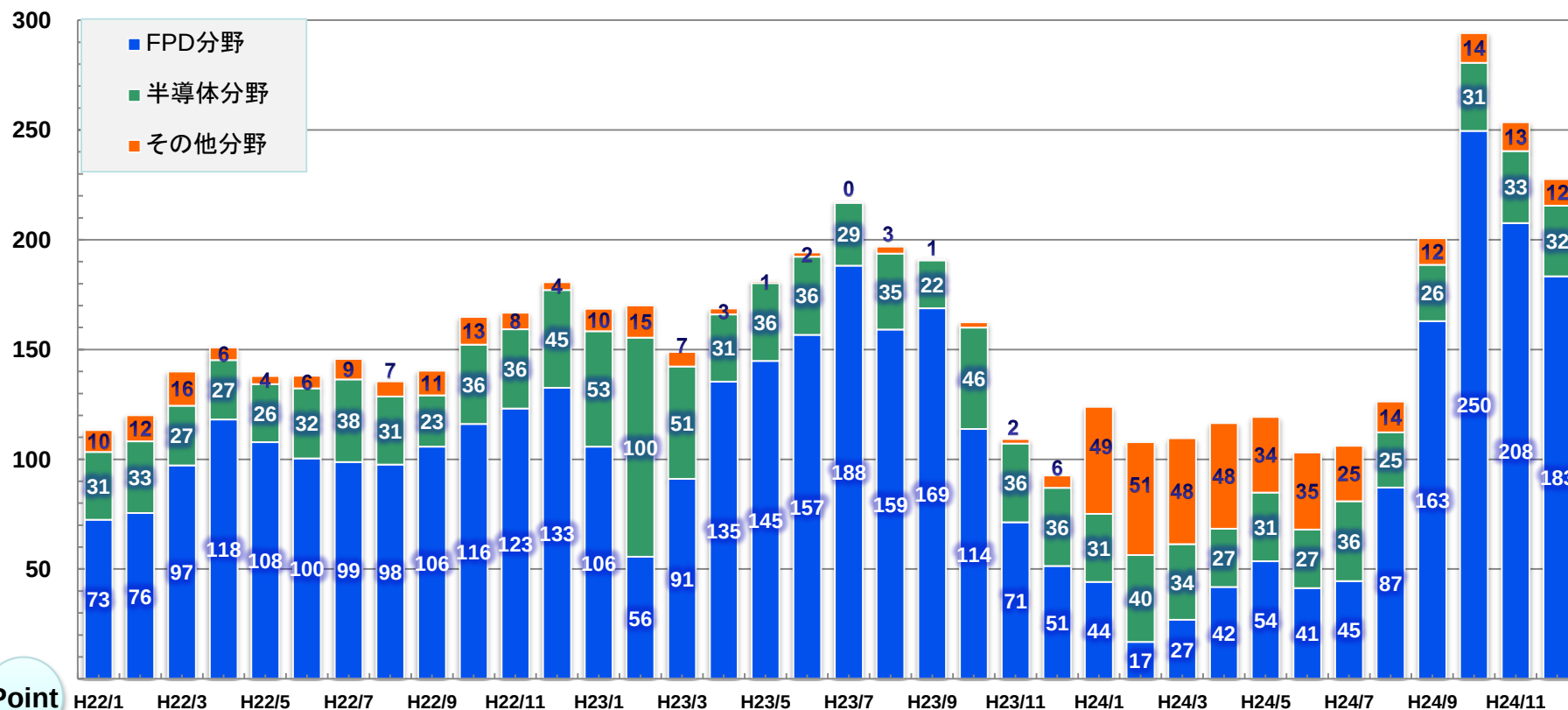
- ・差入保証金の回収による収入: 11百万円
- ・有形固定資産の取得による支出: 7百万円
- ・無形固定資産の取得による支出: 6百万円

③財務活動によるCF(通期): ▲195百万円

- ・長期借入金の返済による支出: 194百万円

月次受注残高の推移

(単位:百万円)



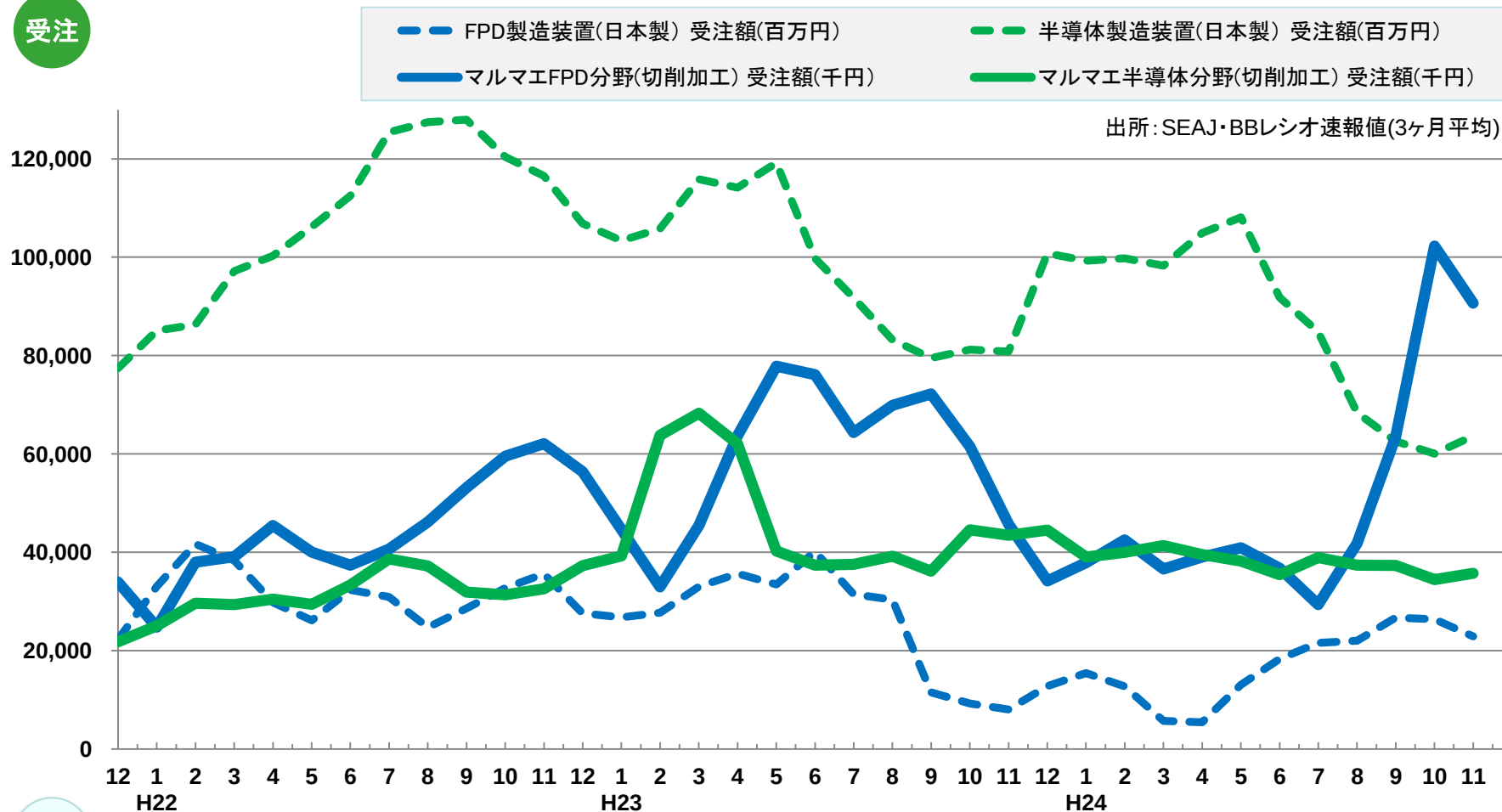
Point

- FPD分野は、国内向けの受注で拡大。短期的には売上に伴って減少。
- 半導体分野は、半導体市況は底打ちと見られるも、力強さには欠ける。試作品受注継続で受注残微増。
- その他分野は、FPD分野と半導体分野に生産力集中も、安定分野への営業活動継続。

※当社の受注は、案件ごとに長短さまざまなリードタイム(LT)があり、LTの長い案件が多いと売上高に比べ受注残が多めで、LTが短い案件が多いと売上高に比べ受注残は低めに表れます。(主に半導体はLTが短く、FPDはLTが長めです)

市場とマルマエの受注動向比較(3ヶ月移動平均数値)

受注



Point

- FPD分野は、中国向け案件が具体化しており、受注活動に注力も、政治リスクで不透明感。
- 半導体分野は、市況厳しいが、台湾向けに需要増加見込み。新規顧客からの品種拡大で受注増加狙う。

販売分野別の環境と営業方針のまとめ

FPD分野

- ◆ 国内向けの受注は山を越え、中国向け需要見込む
- ◆ 長期的には国内装置生産減少傾向
- ◆ 自社の得意技術活かし、消耗品の受注注力

半導体分野

- ◆ 底打ちから横ばいへ、世界的に装置需要停滞は継続
- ◆ 設備投資は韓国メーカー激減も台湾メーカー活発化
- ◆ 社内は高付加価値品へ転換し、低付加価値品海外調達

その他分野

- ◆ FPDと半導体分野の需要で生産余力少なく、受注困難
- ◆ 長期的なFPD分野の停滞見据え新分野営業継続
- ◆ 新分野は、鉄道車両関連・原子力燃料関連・通信関連等

3.平成25年8月期の業績予想



今期の見通し(損益・設備投資・固定費要因)

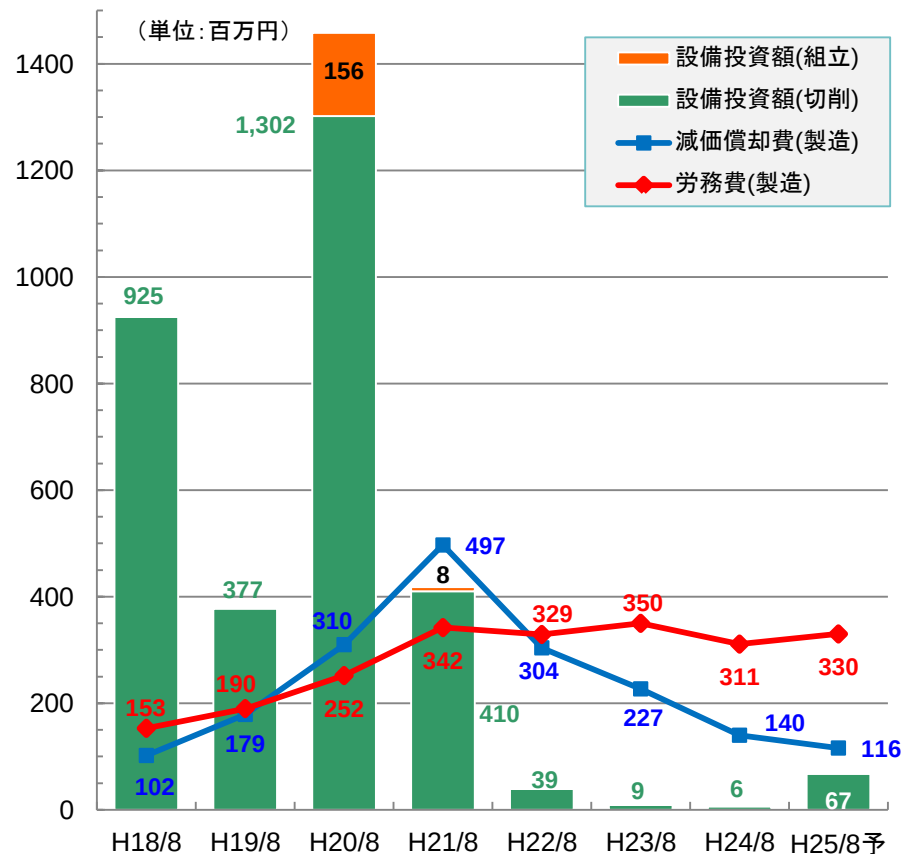
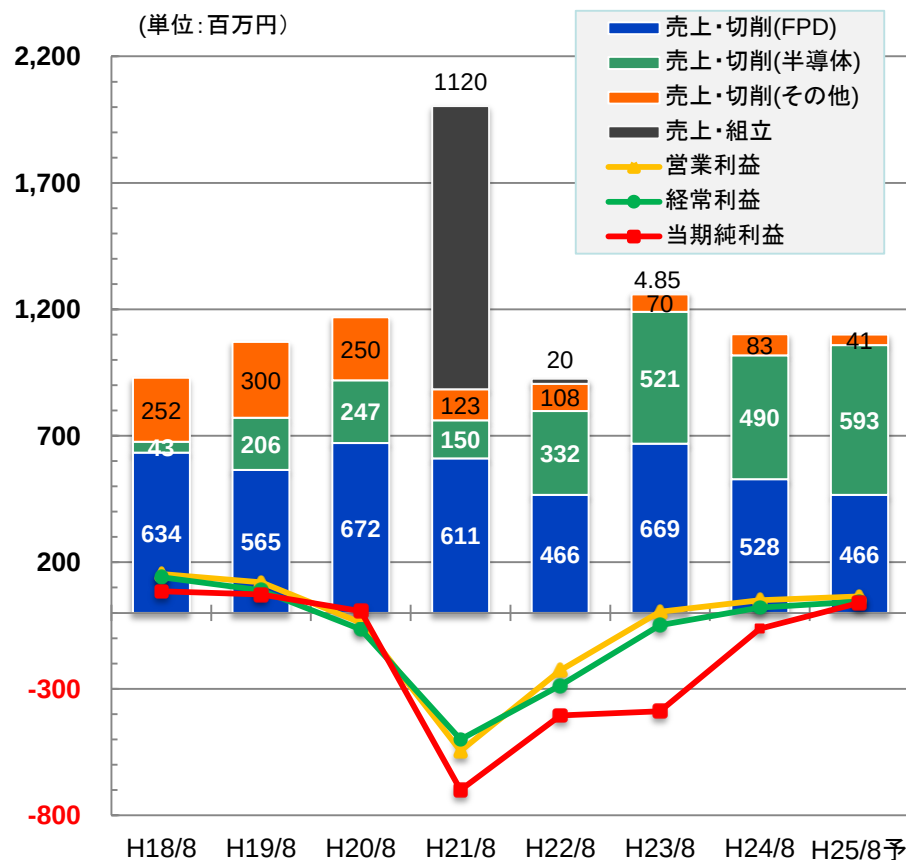
業績
予想

(単位: 百万円、1株当たり当期純利益は円)

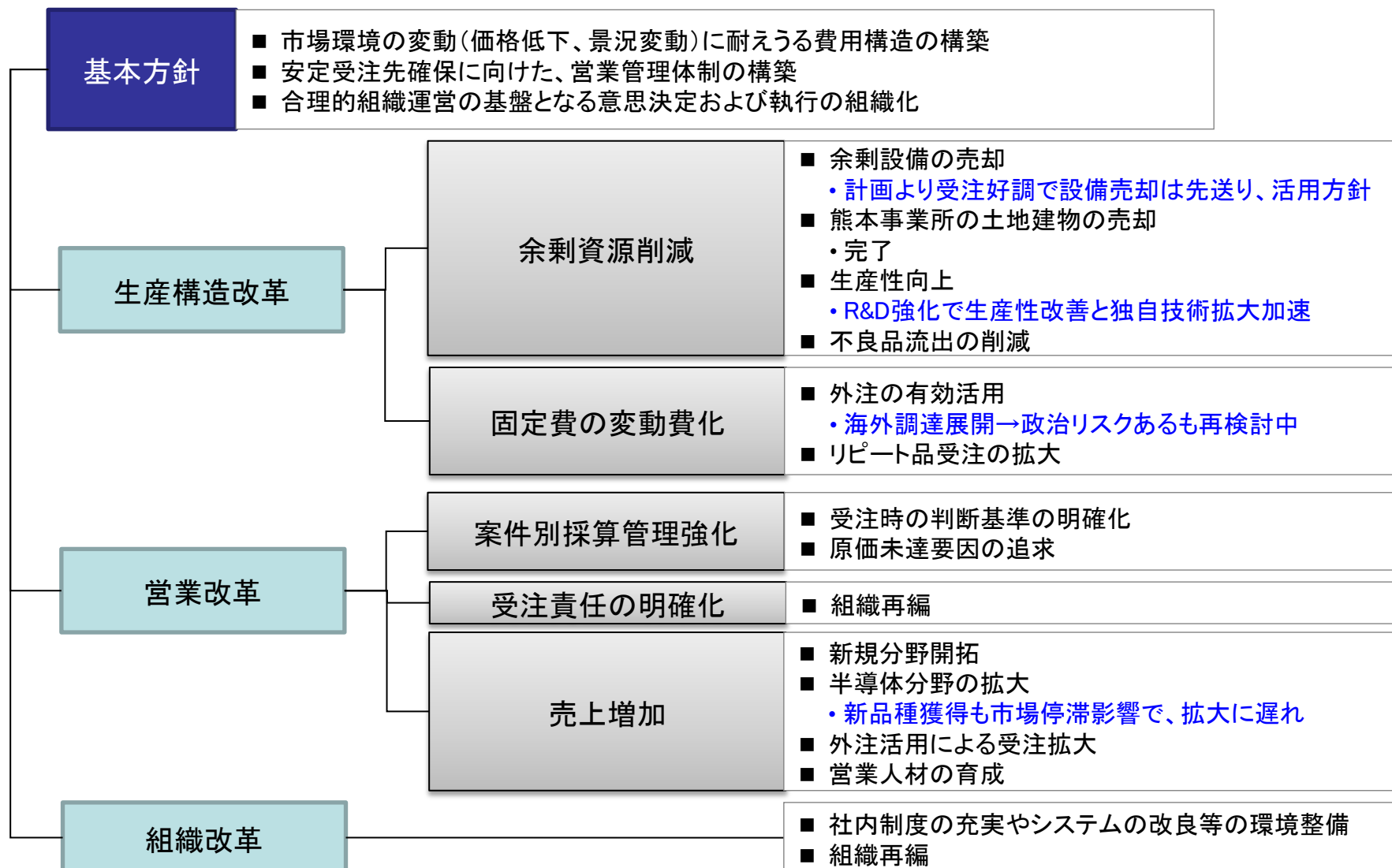
平成25年8月期 業績予想	売上高	営業 利益	経常 利益	純利益	1株当たり 純利益
第2四半期累計期間	540	35	25	22	1,261.03
通期	1,100	65	45	40	2,292.79

Point

第1四半期は予想比で好調に推移
下期は市場不透明で保守的予想



事業再生計画の進捗



本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、マルマエ経営陣の判断など不確定要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様にマルマエの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など投資判断を提供するものではありません。投資に関しての責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問合せ先

株式会社マルマエ 管理部総務課 IR担当

ir@marumae.com

TEL 0996-64-2900 FAX 0996-64-2863

Company Profile

企業情報

進化する技術で未来を拓く

会社名	株式会社マルマエ (Marumae Co., Ltd)	大株主 (普通株式)	前田 俊一	9,270株
設立	昭和63年10月		株式会社マルマエ(自己株)	1,094株
資本金	1億3300万円 (平成24年11月30日現在)		前田 美佐子	840株
役員	代表取締役社長 前田俊一		マルマエ共栄会	321株
	専務取締役 山元 弘	監査役 紫尾俊一	前田 良子	300株
	取締役 海崎功太	監査役 寺畑幸雄	五十嵐 光栄	279株
	取締役 藤山敏久	監査役 大道卓	齋藤 格	203株
従業員数	85名 うち 臨時雇用者等15名 (平成24年11月30日現在)		マルマエ従業員持株会	151株
所在地	本社	〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保3816番41	平岩 靖	128株
	関東事業所	〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15	出口 勝志	115株
事業内容	・精密機械・精密機器の設計・製造・加工・組立 ・精密機械部品の設計および製作 ・溶接部品の設計製造 ・運送業務			
経営理念	1.技術は究極を目指し 2.競争と協調を尊び 3.技術注力企業として社会に貢献する 経済を支える“モノづくり”の中で、モノづくりの源流である部品加工にこだわっていきます。 そして、さまざまな分野で総合メーカーを支えられる企業となるために先端技術と供給力を持つ部品加工のリーディングカンパニーを目指します。			
			敬称略 平成24年11月30日現在	

進化する技術で未来を拓く

年月	沿革
昭和40年4月	鉄工所を故前田務(元社長、元相談役)が個人で創業
昭和63年10月	個人経営の鉄工所をマルマエ工業有限公司(現当社)に改組(出資金2,000千円)
平成4年	オートバイ部品製造目的のT'sM'sR&D(現当社事業)を前田俊一(現代表取締役社長)が個人で創業
平成9年9月	T'sM'sR&Dの事業をマルマエ工業有限公司が引継いでR&D事業部を設置
平成9年10月	R&D事業部にて発電所用タービンブレード受注開始、3次元CAD/CAMの導入
平成12年3月	同時5軸加工機導入
平成13年4月	株式会社マルマエに商号および組織変更(資本金10,000千円)
平成15年12月	鹿児島県出水郡高尾野町(現出水市)に本店移転、新本社工場竣工、大型5面加工機導入
平成16年4月	工場増床、高回転型門型加工機導入
平成16年12月	日本証券業協会によるグリーンシート銘柄指定(証券コード6264)
平成18年2月	鹿児島県出水市知識町に新工場(知識工場)取得
平成18年12月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
平成19年2月	熊本県菊池郡大津町の熊本事業所が稼働開始
平成19年5月	経済産業省発表の2007年度版「元気なモノ作り中小企業300」に選定
平成20年4月	埼玉県朝霞市の関東事業所が稼働開始
平成20年5月	熊本事業所組立工場竣工
平成20年5月	本社第4工場竣工
平成20年9月	熊本事業所加工工場増設
平成23年4月	熊本事業所の閉鎖
平成23年7月	事業再生ADR手続の成立

※注 個人事業部分については、月次の確定が困難なため月日の記載を省略しております。